

第513回 IBC番組審議会

1. 開催日時 平成18年9月27日(水)午前11時

2. 開催場所 デジタルセンター3F Dホール

3. 委員の出席

委員数 11名

出席委員数 7名

出席委員の氏名

委員長 吉沢 正則

副委員長 田代 高章

委員 伊藤 史典 河村 泰信

澤口たまみ 高橋 健悦

宮澤 徳雄

欠席委員の氏名

熊谷志衣子 小松 務

米谷 春夫 矢佐 俊幸

会社側出席者

阿部 正樹 代表取締役社長

川島 敬司 常務取締役

柴田 継家 報道局長

鎌田 英樹 テレビ編成局長

中島 勝志 ラジオセンター編成業務グループ長

角館 郁也 制作部長

事務局

馬場由紀子 番組審議会事務局長

小笠原 勉 番組審議会事務局次長

4. 議題

IBC特集『普段着の賢治さん』

5 . 議事の概要

< 委員の主な発言 >

- ・ うつむいてポーズをとっている写真は、実はベートーベンをまねた写真であったことや、清貧というイメージがあったが、結構おしゃれで清潔好きだったというエピソードなど新しい発見があり、入門編として新鮮な感じで見ることができた。
- ・ 全体的にきれいにまとまっていたが、人間関係に苦しむ姿など、もっと人間臭いドロドロとした部分も紹介して欲しかった。
- ・ 賢治は自然と一体化して作品を作っているということなので、岩手のきれいな自然を紹介しながら作品を紹介する。きれいな映像とともに賢治の足跡をたどっていくような番組も面白いのではないか。今後検討していただければと思っている。

< 社側 >

- ・ 貴重なご意見ありがとうございました。賢治の書簡を使った切り口の番組はぜひ挑戦してみたいと思います。
そのような切り口が全然頭の中になかったわけではないのですが、企画が決まった段階で、間口が広いテーマになったこともあり、入門編以上の突っ込み、新しい発見の部分が紹介し切れなかった面もあります。
- ・ 10年前の生誕100周年の時にたくさんの番組を制作しました。当時の映像は当然ハイビジョンではなく、アナログ時代の映像です。風景、景色、賢治記念館の資料などをハイビジョンで撮りなおす作業もあります。
これを機会に原点に戻って一からやり直すつもりで、番組制作に取り組みたいと思います。